

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年 6月25日更新

事務事業名	下水道汚水施設維持管理事業(管渠)				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画	政策	4	生活環境の健康	所属部	水道局	課長名	坂本 卓博
計画	施策	20	水の安定供給と排水の浄化	所属課	下水道課	担当者名	浪崎弘太郎、中山義崇
体系	施策の柱	61	排水の浄化	所属班	下水道班	(内線)	5284
予算科目	会計企業	款 1	項 1	目 3	事業連番 10234	根拠法令	下水道法
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	市民の生活環境の改善を図り、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全を目的とする下水道施設の管渠・マンホール等の適正な維持・管理を行う事業である。 具体的には、汚水マンホールの改善・改良業務、下水道管渠の詰まりの解消(清掃)業務、新築・改築に伴う各家庭等の排水設備整備業務、下水道台帳システムの整備などを行う事業である。
【業務の流れ】	(マンホール蓋の購入) ①準備契約のための見積取次 ②業者決定・準備契約 ③必要数の発注 ④納品・保管 ⑤支払い ⑥改良工事などに伴う打ち合わせ ⑦材料支給 ⑧工事完了箇所の確認 【マンホール改良工事】 ①マンホール改良必要箇所の確認 ②現地調査、施工方法の検討 ③測量設計 ④実施設計書の作成 ⑤工事請負契約事務 ⑥改良工事 ⑦竣工検査 ⑧支払い事務 (※園・県・市道の整備、舗装打ち換えに併せて、老朽化したマンホール蓋の更新も実施している。その場合は、マンホール蓋・受枠等の材料支給のみ行う場合もある。) 【排水設備整備】 ①計画確認申請の受理 ②計画に対する指示及び指導 ③必要に応じ道路管理者との協議(占用・施工承認など) ④排水設備工事完了に伴う検査 ⑤使用開始届の回付事務 ⑥排水設備工事責任技術者の登録及び管理事務(H23まで) ⑦排水設備指定工事店の指定、指導及び助言、処分に関する事務 ⑧特定施設及び除害施設に関する事務 ⑨本事業に必要となる予算の計上事務(台帳システム整備) 市民・業者からの下水道施設(管渠・公共汚水等)に関する問い合わせ(閲覧希望)に対し施設の概要を回答。前年度に施工した工事の竣工図及び民間開発行為等で整備された下水道施設の完成図を下水道台帳システムへ情報の入力。排水設備については、各世帯情報及び配管図を台帳システムに取り込む。
【主な予算費目】	材料費、修繕費、委託料、工事請負費、保険料
【意見や要望】	住宅地の住民から、振動やガタツキ等があるので、マンホールの改善を進めてほしいという要望がある。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO)	新規・拡充区分: 2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
下水道マンホール蓋を購入した 下水道マンホール改良工事(マンホール蓋・受枠等の材料支給も含む)を行った 下水道管渠の清掃、排水設備整備業務を行った 下水道台帳整備業務を行った 生坪汚水枝線管渠の災害復旧工事を行った	下水道マンホール蓋の購入 下水道マンホール改良工事(マンホール蓋・受枠等の材料支給も含む) 下水道管渠の清掃、排水設備整備業務 下水道台帳整備業務
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 排水設備申請件数	件 生坪汚水枝線管渠の災害復旧の減
イ: 下水道マンホール改良工事本数	本
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民	(単位) 人
	→ ア: 人口
	イ: マンホール蓋改良箇所数
	箇所
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
生活環境の改善	(単位) %
	→ ア: 水洗化率
	イ: 要改良マンホール数と改良実施マンホール数の割合
	%
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠	
水洗化率(水洗化率は整備区域人口に対し水洗化を行った人口であるため、市民の生活環境が改善されたことを表せるため)	
改良マンホール数の割合(振動やガタツキ等が解消されたことを表すため)	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
0	

各指標・総事業費の推移	単位	29年度	30年度	31年度	31年度	2年度	3年度	4年度	5年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 件	231	428	450	492	450	450	450	450
	イ 本	4	4	15	8	15	15	15	15
② 対象指標	ア 人	61,652	62,343	62,338	62,707	62,925	63,600	64,614	65,500
	イ 箇所	15	68	50	40	50	50	50	50
③ 成果指標	ア %	95.8	95.9	96.4	95.9	96	96.1	96.2	96.3
	イ %	100	100	100	100	100	100	100	100
投資入費量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	4,086	7,909	15,664	9,172	8,816	12,000	12,000
	繰入金	千円							
	一般財源	千円							
(A) 事業費計	千円	4,086	7,909	15,664	9,172	8,816	12,000	12,000	12,000
	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	6	8	6	9	10	10	10
	延べ業務時間	時間	1,970	1,230	1,000	2,370	2,400	2,400	2,400
(B) 人件費計	千円	7,793	4,848	3,984	9,392	3,984	3,984	3,984	3,984
	千円	11,879	12,757	19,648	18,564	12,800	15,984	15,984	15,984

事務事業名	下水道汚水施設維持管理事業（管渠）	所属部	水道局	所属課	下水道課
-------	-------------------	-----	-----	-----	------

2 評価の部（CHECK）

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 県道及び市道の舗装改良工事等に合わせて効率的にマンホール改良を実施し、成果を達成することができた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 マンホール改良が必要な箇所を一つひとつ取り組むことにより、改善を進めており目標達成の見込みはある。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 老朽化したマンホール及び旧型マンホールは、相当箇所数が未改良であり、支障なく安全な状態に保全するためには全て実施する必要がある、成果の向上余地はある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 緊急を要するマンホール改良箇所は、下水道事業での単独施工となり他に手段はないが、市道や県道の道路改良や舗装改良事業等と連携して進めることにより、安全かつ経費的に有利に事業を進める。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 マンホール蓋の設置後、相当の年数が経過しており、改良を必要とするマンホールは今後も増加するものと予測され、事業費の削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 本事業を専門で行なう職員はおらず、他の業務との兼任で実施するものであり、これ以上の削減の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 下水道施設の維持管理として必要な事業であり、費用は使用者からの下水道使用料でまかなわれており、適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 専門的な技術を要し、行政が行なわなければ責任の所在が不明確となるため、住民や地域・団体へ移行することはできない。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

上水道工事や市道（建設課）の道路改良工事に合わせて、効率的に旧型マンホールの改良が実施できた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p>																						